



学校法人 白鷗大学

2023（令和5）年度

事業報告書



白鷗大学  
HAKUOH UNIVERSITY

## 目 次

### I.学校法人の概要

1. 建学の理念と沿革 .....	2
2. 設置する学校.....	3
3. 法人組織図.....	4
4. 役員・教職員.....	5

### II.事業の概要

1. 前年度事業の概要 .....	6
2. 白鷗大学の基本計画 .....	8
3. 白鷗大学足利高等学校の基本計画.....	13
4. 白鷗大学足利中学校の基本計画.....	14
5. 白鷗大学はくおう幼稚園の基本計画 .....	15

### III.財務の概要

1. 学校法人会計について .....	16
2. 2023 決算の概要 .....	16

基礎データ .....	34
-------------	----

# I. 学校法人の概要

## 1. 建学の理念と沿革



### (1) 白鷗大学の建学理念を具現化する言葉～PLUS ULTRA（さらに向うへ）～

これは、大学創設者、上岡一嘉初代学長が、白鷗大学の記念すべき第1回卒業式（1990年）で建学の精神を卒業生に託すべく贈った言葉です。

「高く広い視野に立って、たった一度の人生に情熱的にチャレンジして欲しい」というメッセージを具現化する言葉で、今では本学の建学の理念を表すスローガンとなっています。

### (2) 建学の理念

本学の建学の理念は、次の4項目により表現されます。

1. 永久に新しい、また常に若き情熱の学府として、二十一世紀の社会の発展と地域の産業、経済、文化等の活性化に貢献する。
2. 激変する国際社会において、現状を的確に見定めるとともに、長期的で広い視野に立って将来を展望し、考え、行動できる人材を養成する。
3. 本格的なデジタル化、国際化社会を迎え、二十一世紀の日本を担う中核として活躍できる人材を育成する。
4. 進んで異文化を積極的に研究すると同時に、最新の情報を的確に入手し、それらを活用できる体制を作り上げる。

### (3) 沿革

1915	大正 4	上岡長四郎、足利裁縫女学校設立	1999	平成 11	白鷗大学大学院経営学研究科修士課程、法学研究科修士課程を設置
1927	昭和 2	財団法人足利高等家政女学校となる	2001	平成 13	白鷗大学に経営学部ビジネスコミュニケーション学科を設置
1935	昭和 10	栃木県足利高等家政女学校と改称	2002	平成 14	白鷗大学女子短期大学の英語科を廃科
1947	昭和 22	学制改革により改編、足利家政中学校と改称	2004	平成 16	白鷗大学女子短期大学部専攻科（幼児教育専攻）を廃科
1948	昭和 23	足利家政専門学校創設			白鷗大学女子短期大学部附属幼稚園を白鷗大学はくおう幼稚園に名称変更
1951	昭和 26	学校法人足利学園を設立			白鷗大学東キャンパス竣工
1952	昭和 27	足利家政高等学校（女子普通、商業、家政）を設置			白鷗大学大学院法務研究科（法科大学院）を設置
1954	昭和 29	足利家政中学校・高等学校・専門学校を足利学園中学校・足利学園高等学校・足利学園女子専門学校と改称			白鷗大学法学部の一部を東キャンパスに移転
1956	昭和 31	足利学園附属くるみ幼稚園開園			白鷗大学に発達科学部発達科学科を設置
1961	昭和 36	中学校を解消、新体制で足利学園中学校開校	2005	平成 17	白鷗大学女子短期大学の経営科・幼児教育科を廃科
1962	昭和 37	足利学園高等学校に工業化学科を設置	2006	平成 18	白鷗大学足利高等学校の設備工業科・建築科を廃科
1965	昭和 40	足利学園高等学校に自動車科を設置			白鷗大学女子短期大学の幼児教育科第二部を廃科
1967	昭和 42	埼玉県越谷市に越谷くるみ幼稚園開園	2007	平成 19	白鷗大学女子短期大学部を廃止
1969	昭和 44	足利学園女子専門学校、同幼稚園を学校法人上岡学園に移管、学校法人足利学園は高等学校(全日制)と中学校の2校に変更			白鷗大学発達科学部を教育学部に名称変更
1971	昭和 46	足利学園高等学校に建築科を設置			白鷗大学教育学部に英語教育専攻、心理学専攻を設置
1974	昭和 49	栃木県小山市に白鷗女子短期大学（英語科・幼児教育科）を設置	2011	平成 23	白鷗大学経営学部経営学科に経営専攻、ビジネスコミュニケーション専攻を設置
1976	昭和 51	白鷗女子短期大学幼児教育科第二部を設置	2012	平成 24	白鷗大学足利中学校中高一貫教育コース設置
		白鷗女子短期大学附属幼稚園を設置			白鷗大学経営学部のビジネスコミュニケーション学科を廃科
1980	昭和 55	白鷗女子短期大学に経営科を設置			白鷗大学足利高等学校の音楽科を廃科
1981	昭和 56	足利学園高等学校に音楽科を設置	2014	平成 26	白鷗大学足利高等学校の自動車科・英語科廃科
1982	昭和 57	白鷗女子短期大学に経営科・幼児教育科の専攻科を設置	2017	平成 29	白鷗大学大学院法務研究科（法科大学院）廃止
1984	昭和 59	足利学園高等学校に英語科を設置、富田キャンパス竣工			白鷗大学足利中学校中高一貫教育コース廃止
1986	昭和 61	栃木県小山市に白鷗大学（経営学部）を設置	2018	平成 30	法人事務所及び大学本部所在地を小山市大行寺から小山市駅東通りに移転すると共に、従来の東キャンパスを本キャンパス、本校舎を大行寺キャンパスに名称変更
1989	平成元	足利学園高等学校に設備工業科を設置			経営学部を本キャンパスに移転
1990	平成 2	法人名を足利学園から白鷗大学に名称変更	2024	令和 6	白鷗大学足利中学校・高等学校 新校舎竣工
1991	平成 3	足利学園高等学校の工業化学科を廃科			白鷗大学足利高等学校富田キャンパスをメインキャンパスと一体化
1992	平成 4	白鷗大学に法学部を設置			白鷗大学足利高等学校普通科を特別進学コース・進学コース・総合進学コースに再編
1994	平成 6	足利学園高等学校・中学校を白鷗大学足利高等学校・中学校に名称変更			
1996	平成 8	法人事務所所在地を足利市から小山市に移転			
1997	平成 9	白鷗女子短期大学、同附属幼稚園を白鷗大学女子短期大学部、同附属幼稚園に名称変更			
		白鷗大学女子短期大学部専攻科（経営）、白鷗大学足利高等学校商業科・家政科を廃科			

1. 学校法人の概要

2. 設置する学校 (2024年4月1日現在)

(1) 法人本部所在地

学校法人白鷗大学：理事長 上岡 條二  
 栃木県小山市駅東通り二丁目3番地5

(2) 各学校の長と所在地(住所)

白鷗大学：学長 北山 修  
 (本キャンパス) 〒323-8586 栃木県小山市駅東通り2-2-2  
 (大行寺キャンパス) 〒323-8585 栃木県小山市大行寺1117

白鷗大学足利高等学校：校長 大橋 芳樹  
 〒326-0054 栃木県足利市伊勢南町3-2

白鷗大学足利中学校：校長 高久 哲史  
 〒326-0054 栃木県足利市伊勢南町4-3

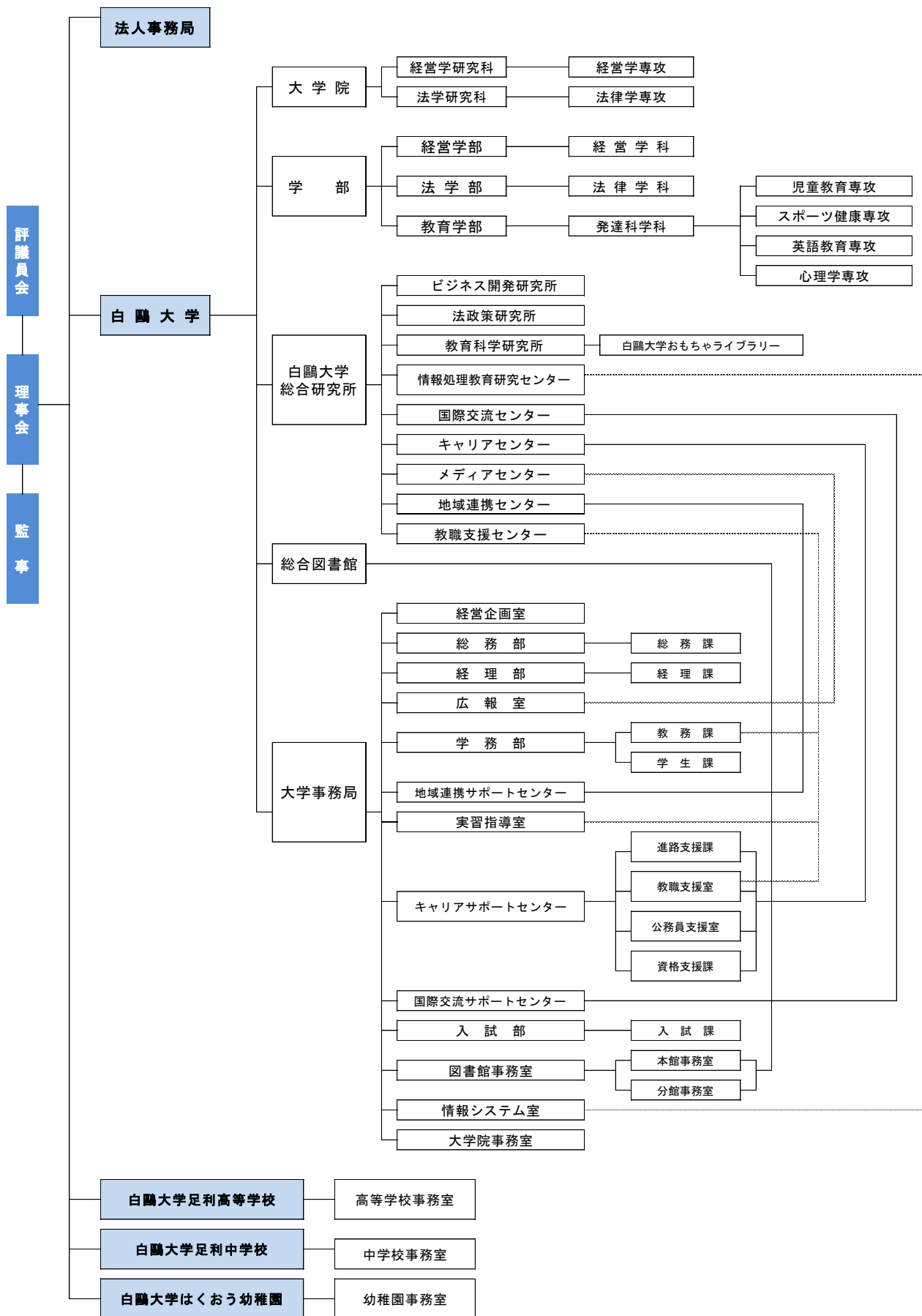
白鷗大学はくおう幼稚園：園長 舘野 由伸  
 〒323-0041 栃木県小山市大行寺1195

(3) 入学定員、現員 (2024年5月1日現在)

学校名		入学者数	1学年	2学年	3学年	4学年	合計		
白鷗大学	大学院	経営学研究科	1	1 (20)	3 (20)			4 (40)	
		法学研究科	4	4 (10)	7 (10)			11 (20)	
		大学院合計	5	5 (30)	10 (30)			15 (60)	
	学部	経営学部	経営学科	456	457 (400)	540 (400)	455 (400)	490 (400)	1,942 (1,600)
		法学部	法律学科	319	319 (270)	319 (270)	297 (270)	327 (270)	1,262 (1,080)
		教育学部	発達科学科	531	531 (430)	493 (430)	497 (430)	513 (430)	2,034 (1,720)
		学部合計		1,306	1,307 (1,100)	1,352 (1,100)	1,249 (1,100)	1,330 (1,100)	5,238 (4,400)
	白鷗大学足利高等学校		普通科	427	429 (950)	440 (950)	410 (950)		1,279 (2,850)
	白鷗大学足利中学校			33	33 (120)	58 (120)	43 (120)		134 (360)
	白鷗大学はくおう幼稚園			18 (年少クラスの入園者のみ)	18 (40)	23 (50)	26 (50)		67 (140)
総合計		1,789	1,792 (2,240)	1,883 (2,250)	1,728 (2,220)	1,330 (1,100)	6,733 (7,810)		

学部学科等の上段は、5月1日現在の学生・生徒・園児数、下段( )は各学年の入学定員

3. 法人組織図 (2024年4月1日現在)



1. 学校法人の概要

4. 役員・教職員（2024年4月1日現在）

(1) 理事

定数	実数	選任区分・実数	
		1号理事	2号理事
6~8	7	2	3
		3号理事	2

理事長 上岡條二 理事 北山 修 大橋芳樹 江頭信弘 田才 晃（外部理事）  
小林 喬（外部理事） 上岡寛子

以上(順不同)

(2) 監事

定数	実数	選任区分・実数	
		常勤	非常勤
2~3	2	2	0

監事 深見栄一 清都崇史 以上(順不同)

(3) 評議員

定数	実数	選任区分・実数	
		1号評議員	2号評議員
15~18	16	5	3
		3号評議員	8

評議員 上岡條二 上岡磨奈 大橋芳樹 高久哲史 渡邊博記 手束和正  
笠原健一 大澤洋子 江頭信弘 岡部宣男 赤堀侃司 加藤澤男  
田才 晃 藤井 健 ジェフリー ミラー ジョン モートン

以上(順不同)

(4) 教職員（2024年5月1日現在）

学校名	教員数			職員数			総合計		
	専任	専任以外	合計	専任	専任以外	合計	専任	専任以外	合計
白鷗大学	124	120	244	96	19	115	220	139	359
白鷗大学足利高等学校	85	49	134	15	6	21	100	55	155
白鷗大学足利中学校	16	6	22	0	0	0	16	6	22
白鷗大学はくおう幼稚園	7	9	16	0	1	1	7	10	17
総合計	232	184	416	111	26	137	343	210	553

※学長及び副学長は大学専任教員にてカウントしている。

※法人部門所属職員は、大学部門にてカウントしている。

(ただし同法人内への出向者は、出向先の部門にてカウントしている。)

※同法人内における兼務教職員は、それぞれの本務部門にてカウントしている。

## II.事業の概要

### 1. 前年度事業の概要

#### (1) 各学校の学事年表

実施事業（当初予定から変更実施になった行事を含む）

#### 2023年

4月	入学式（大学、高等学校、中学校）・入園式 創立記念日（高等学校、中学校） 新入生オリエンテーションⅡ（中学校） 昼食無料サービス（大学） イースターパーティー（幼稚園） 開学記念日	10月	体育祭（高等学校） 体育祭（中学校） オープンキャンパス（高等学校） オープンキャンパスⅡ（中学校） 運動会（幼稚園） 卒園遠足（幼稚園） 小遠足（幼稚園） 修学旅行（高等学校 富田キャンパス）
5月	スポーツ大会（大学） 新入生歓迎球技大会（高等学校） 保育参加（幼稚園）	11月	白鷗祭（大学） 合唱祭（高等学校） 合唱祭（中学校） やきいもパーティー（幼稚園）
6月	3年生保護者懇談会（大学） 芸術教室（中学校）	12月	おゆうぎ会（幼稚園） クリスマスパーティー（幼稚園） おもちつき（幼稚園）年中・年長 スキー教室（中学校） 白鷗WEBフォーラム2023③（大学） 社会科見学（高等学校 本校舎1年）
7月	白鷗WEBフォーラム2023①（大学） 七夕祭り（幼稚園） 夏祭り（幼稚園） お楽しみ保育（幼稚園） オープンキャンパス（大学） オープンキャンパスⅠ（中学校） 体育デー（中学校） レクチャーコンサート（高等学校） 林間学校（中学校）	2024年	
8月	学習合宿（高等学校） 1日体験学習（高等学校） 学校説明会・見学会①（高等学校） 入園説明会（幼稚園）	1月	おもちつき（幼稚園）年少・満3歳 予餞会（高等学校） シーガルセミナー（中学校）
9月	9月卒業式（大学） 白鷗WEBフォーラム2023②（大学） 入園願書配布受付（幼稚園） 十五夜（幼稚園） 学校説明会・見学会②（高等学校） 入試説明会（高等学校）	2月	節分（豆まき）・1日入園（幼稚園） 立志式（中学校） 予餞会（中学校） 新入生オリエンテーションⅠ（中学校）
10月	1年生保護者懇談会（大学）	3月	海外研修旅行（中学校） 修学旅行（高等学校 本校舎） ブリティッシュヒルズ語学研修 （高等学校 富田校舎） ひなまつり（幼稚園） 卒業式・卒園式

コロナ禍により当初予定から中止若しくは変更により実施できなかった事業

#### 2023年

6月	職場体験（中学校）
7月	お泊り保育（幼稚園）

#### 2024年

なし

## II.事業の概要

### (2) 各学校の主たる事業概要

#### ①法人

##### ・新型コロナウイルス（COVID-19）による影響

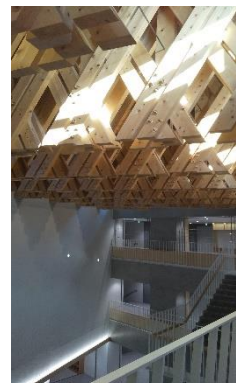
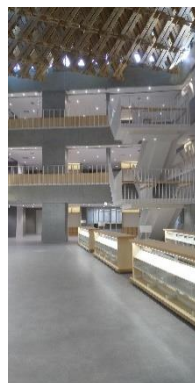
2023年度5月から新型コロナウイルスが感染症法上の5類に移行され、大学部門においては、全ての科目を面接（対面）授業で実施することを原則とし、高等学校、中学校及び幼稚園でも、徐々に平常時の教育環境を取り戻してまいりました。

本法人としては、学生・生徒・園児が安全安心な環境の中で充実した学校生活を送ることができるよう、今後も創意工夫を凝らした授業の実施などの教育活動を行ってまいります。

#### ②高等学校・中学校部門

##### ・白鷗大学足利高等学校及び白鷗大学足利中学校の新築校舎竣工について

2024年1月31日に白鷗大学足利高等学校及び白鷗大学足利中学校の新築校舎が竣工を迎え、2月26日に定礎式が執り行われました。校舎は地上4階建てで、通常教室の他、理科室、技術室、調理室、美術・書道室、音楽室、視聴覚室、図書室、メディアセンターなどの特別教室や、体育館、多目的ホールなどが配置されています。



#### ③大学部門

##### ・夏期海外研修を実施

本学では外国語や異文化に興味を持つ学生を対象に、夏期休暇中に短期の海外研修プログラムを実施しています。新型コロナウイルス感染拡大の影響で4年ぶりの再開となった2023年度は、インディアナ研修を8月24日～9月6日の14日間、ハワイ研修を8月29日～9月5日の8日間の日程で行いました。参加学生は、現地の歴史や文化に触れたり、現地学生と交流したりするなどして有意義な時間を過ごしました。

##### ・とちぎ創生シンポジウムの開催

2023年11月14日、白鷗大学法政策研究所による「とちぎ創生シンポジウム—とちぎ創生と女性活躍—」が行われ、多くの学生が参加しました。本学は2022年3月に栃木県と地方創生の推進に関する連携協定を締結し、研究・教育、社会貢献活動に取り組んでおります。今回のシンポジウムは2023年2月に続き2回目の開催で、栃木市長の大川秀子氏、栃木県生活文化スポーツ部長の野原恵美子氏による基調講演の後、本学同窓会組織「鷗友会」会長の田中美保氏と本学教員を加えてパネルディスカッションを行いました。本学からは藤井亮二教授（法学部）、新谷由里子教授（教育学部）、児玉博昭前教授（法学部）が参加しました。



## 2. 白鷗大学の基本計画

## 教育活動の概要

建学の理念をゴールとしてさらに具体化した「教育目標」は、次の4項目から構成されています。

1. 激動する国内外に適応し、積極的に協調し、貢献できる語学力とコミュニケーション能力を養うこと。
2. 洞察力を磨き、修得した専門知識を統合し、課題解決型の行動力を養うこと。
3. 教員と学生の人間的ふれあいを重視するとともに、各分野にわたる最新のコース別講義体系、相互討論などを通じ、十分な思考力と多様な個性を育成すること。
4. 知・徳・体を備えた人格形成に努めるとともに、自らの判断、努力と責任に基づいて、国内外社会に積極的に貢献できる強靱な精神を養成すること。

## 基本理念

学生教育を中心とする大学作り

何よりも学生を大切にし、学生が主体的に学ぶ活気ある大学を目指す

豊かな人間性と専門的知識の養成

幅広い教養を基に豊かな人間性を育み、基礎学力と高い専門性を基盤として

課題発見・解決能力に優れた人材を育成する大学を目指す

地域及び国際社会との連携（地域活性化の中核的拠点となる）

地域に根ざして世界にはばたく人材を育成する大学を目指す

自己改革

計画・実行・評価・改善の改革サイクルによる自己点検評価を行い、

基本理念を実現するために大学改革を継続する

## 【白鷗大学3つのポリシー】

## ◎ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針について）

白鷗大学は、国際的視野を持ち、各分野の学修によって得られた専門的知識を活かして社会の発展に貢献できる人材の育成を目標とし、本学における教育を通して以下の能力を修得することをディプロマ・ポリシーとしています。

1. 二十一世紀の社会の発展と地域の産業、経済、文化等の活性化に貢献できる能力
2. 激変する国際社会の中にあって、十分な異文化理解のもとに、長期的で広い視野に立って将来を展望し、行動できる能力
3. 本格的な高度情報社会において、最新の情報を的確に入手し、それを有効に活用したうえで効果的に情報を発信できる能力
4. 自らの判断、努力と責任に基づいて、社会に積極的に貢献できる豊かな教養と柔軟な思考力

## ◎カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針について）

白鷗大学は、ディプロマ・ポリシーに定める能力を身につけさせることができるよう、以下の方針に沿って教育課程を編成することをカリキュラム・ポリシーとしています。

1. 激動する国際情勢に適切に対応し、積極的に国際貢献ができる確かな外国語運用能力と、他者と協調し相互理解を深めるためのコミュニケーション能力を養う。
2. 各分野にわたる最新の講義体系の採用により、専門知識の習得を充実させるとともに、社会的要請に応え得る情報教育を実施する。
3. 人間的ふれあいを重視した教員と学生の相互討論等を通じ、習得した専門知識に磨きをかけ、課題を適切に発見し、解決する力を養う。
4. リベラル・アーツを重視しつつ、知・徳・体を備えた人格の形成に資する教育を行う。

## II.事業の概要

### ◎アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

白鷗大学は、大学の建学理念を具現化する言葉「PLUS ULTRA（さらに向こうへ）」の精神に沿った、チャレンジスピリット、パイオニアスピリットを有する入学者を受け入れることをアドミッション・ポリシーとしています。

#### （入学者選抜実施の基本原則）

本学では、次の二つの原則に則り入学者選抜を実施します。

個人の尊重：入学希望者一人ひとりの個性を尊重した評価を行います。

公平性：どのような境遇や背景のもとでも本学で学修できるように、経済的支援に配慮した選抜を実施します。

#### （入学者選抜評価の基本方針）

本学における学修に求められる基本的な資質能力及び潜在能力を、次の3つの観点から評価します。

#### 1. 【知識・技能】

基礎的・基本的な知識及び技能

#### 2. 【思考力・判断力・表現力】

知識及び技能を活用して思考し、判断し、表現する力

#### 3. 【主体性・多様性・協働性】

多様な人々と協働して主体的に学修に取り組む態度

#### （入学者選抜の特色）

本学では、各入学希望者の総合的な資質能力を個別・適正に評価するため、多様な方法で入学者選抜を実施します。

#### 1. 総合型選抜

総合型選抜は、本学で学ぶことを強く希望し、各学部の教育理念・目的を理解し、「何を学ぶか」明確な目的意識を持った入学者を受け入れるため実施します。

#### 2. 学校推薦選抜

学校推薦型選抜は、一定水準の基礎学力を有した者で、本学における諸科学分野の勉学に強い熱意を有し、かつ、その適性があると認められ、将来性のある者に対して広く大学の門戸を開放することを目的に実施します。

#### 3. 学業特待選抜

入学後に経済的支援を行う入学生を選抜する独自の選抜方法で、一定基準以上の優れた学力を有し、本学入学後、各学部の学習に意欲的に取り組み、個性豊かな覇気に富む学生に対して広く大学の門戸を開放することを目的に実施しています。

#### 4. 一般選抜

表現力の基礎となる言語運用能力を重視した「英語」「国語」の2科目の学力試験です。

#### 5. 共通テスト単独選抜

大学入学共通テストの結果により評価することで、本学から離れた地域からの受験生にも配慮し、入学希望者の受験機会を幅広く確保します。

#### 6. 特別入試

その他特別入試として、経営学部及び法学部のみ「社会人」、「帰国生徒」、「留学生」を若干名募集しています。

### (1) 事業運営の概要

#### (ア) 教育環境の充実

2018年度から、JR 小山駅前の新キャンパスに大学本部及び経営学部の機能を移転させ、新キャンパスを本キャンパスとし、現在、経営学研究科・法学研究科・経営学部、法学部の2研究科2学部の学生、約3,000名が学んでいます。

本キャンパスでは、学生の学修、研究に資する最新の設備・機器を備えることはもちろん、学生にとって居心地の良い環境(アメニティ)を提供することで、総合的な教育環境の充実化を図っています。

一方、大行寺キャンパスは、2021年度に再整備が完了し、四季を感じながら快適に学業に打ち込める教育学部に特化したキャンパスとなっています。

・昼食提供の取り組み

学生に活動的・意欲的に一日を過ごしてもらえよう 1999 年から行ってきました「朝食無料サービス」。2020、2021 年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となっていましたが、2022 年に再開。栄養バランスも考慮されたメニューを無料で提供し、多くの学生が利用してきました。2023 年度は、記録的な物価高騰への対応として、より多くの学生を経済的に支援するため、本キャンパスおよび大行寺キャンパスにおいて昼食を無料で提供しました。また、大行寺キャンパスの学生食堂シェモアにおいては、年間を通して 1 食 100 円で朝食を提供しました。

(イ) キャリア支援の推進

・「スクールサポート」の取り組み

白鷗大学独自のシステムである「スクールサポート」では、入学時から教員を志している学生が多い教職課程履修者を中心に、学生が実際の教育現場に参加することができ、現場経験を積むことで学生の視野を広げています。学生は連携する地域の小・中学校で現職教員の指導の下、児童・生徒の学習活動や部活動等の支援を行います。2023 年度は、栃木県小山市、下野市、茨城県古河市、結城市の 47 校に、123 人の学生が参加しました。

(ウ) 国際交流分野の強化

・海外留学、海外研修の取り組み

全学生を対象とした交換留学制度・海外研修、また経営学部の学生を対象とした任意の留学制度を海外 18 大学との交流協定のもとに進めています。在学生在中心となって活動する国際交流プロジェクト「SIPS」では、オンデマンド留学やスタディラウンジなど、留学啓発・国際交流ができる場を学内に提供し、外国語や異文化に触れられる活動を積極的に行っています。また一方で海外留学に伴う様々なリスク管理にも目を向け、安全で充実した海外生活支援を進めています。

(エ) 地域・社会貢献活動の強化

・小山市との連携事業

白鷗大学と小山市は、2007 年 3 月に、人財、教育・研究、産業・雇用をはじめとする各分野で連携と協力により、地域の課題に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目的に、連携に関する協定を締結し、年に 1 度連携事業報告会を開催しています。（2023 年度は小山市と連携協定を結ぶ団体等が一堂に会しての開催となりました。）

・結城市との連携事業

白鷗大学と結城市は、2016 年 3 月に、地域振興、学校教育・生涯学習、研究・人材育成、健康・福祉をはじめとする各分野で連携・協力することにより、地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目的に連携協定を締結し、年に 1 度連携事業報告会を開催しています。（2023 年度はコロナ禍以降初めての対面開催となりました。）

・栃木市との包括連携事業

白鷗大学と栃木市は、2018 年 3 月に、地域振興及びまちづくり、地域人材育成、教育の振興など各分野で連携・協力することにより、相互の発展を図ることを目的に連携協定を締結しています。

・栃木県と地方創生の推進に向けた連携協定

白鷗大学と栃木県は、2022 年 3 月に、地域の課題に関する調査・研究、地域づくりを担う人材の育成、その他目的を達成するために必要な分野に関する連携協定を締結しています。

## II.事業の概要

### ・白鷗フォーラムの取り組みについて

2023年度の白鷗フォーラムは、第1回と第2回はWEB配信形式、第3回は会場（サントリーホール 小ホール）とライブ配信のハイブリッド形式にて開催いたしました。

（講師：北山修 学長 全体（全3回）を通じたテーマは、「きたやまおさむと語る『危機と日本人』」）

第1回目 7月16日（日） 「スポーツの魅力とは！～若者へのメッセージ～」

ゲスト：栗山英樹氏（第5回WBC日本代表監督）

岩淵健輔氏（日本ラグビーフットボール協会専務理事）

司会進行：菅家ゆかり氏（フリーアナウンサー）

第2回目 9月24日（日） 「いま歴史が動く！～失われた30年からの再生へ～」

ゲスト：嶋中雄三氏（本学教授、岡三証券エグゼクティブエコノミスト）

田中優子氏（法政大学前総長 名誉教授/比較文化研究）※VTR出演

司会進行：菅家ゆかり氏

第3回目 12月10日（日） 「響け！祈りそして愛の歌～戦禍2年ウクライナの人々へ～」

ゲスト：後藤謙次氏（本学名誉教授、ジャーナリスト） 森山良子氏（歌手） 平松稜大氏（歌手）

司会進行：菅家ゆかり氏（フリーアナウンサー）

### （オ） 高等教育修学支援認定校に選定

高等教育の修学支援新制度（※）では、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、一定の要件を満たすことの確認を受けた大学等を対象機関とすることとしており、本学は、高等教育の修学支援新制度の支援対象機関として認定されています。

#### ※高等教育の修学支援新制度

支援対象となる学生（入学生・在学生）が、「機関要件」を満たした大学等（支援対象機関）に入学・在学することで、授業料・入学料の減免や日本学生支援機構による給付型奨学金の支給が行われる制度です。（2020年度から実施）

### （2） 2023年度卒業・修了者数（9月卒業生含む）

（2024年3月31日現在）

大学		卒業者数
経営学部	経営学科	433 名
法学部	法律学科	264
教育学部	発達科学科	452
	児童教育専攻	219
	スポーツ健康専攻	119
	英語教育専攻	56
	心理学専攻	58
大学計		1,149
大学院		修了者数
	経学研究科	1
	法学研究科	5
大学院計		6
総合計		1,155

(3) 学業特待制度について

優秀な学生の経済的負担を少しでも軽減し、安心して学業に専念できる環境を整えるために、白鷗大学では開学以来独自の学業特待制度を設けています。この制度によって減免された費用を留学や資格取得の資金に充てるなど、多くの学業特待生が充実した学生生活を送っています。学業特待生として全入学定員の 1/3 以上を募集しており、12月・1月選抜の成績優秀者には、学費全額免除生選考（書類審査、面接試験）があります。また2年次末には資格の見直しがあり、学生の学習意欲を高める役割を果たしています。

(4) キャンパス概要



本キャンパス

（大学院経営学研究科、大学院法学研究科、  
経営学部、法学部）  
〒323-8586  
栃木県小山市駅東通り 2-2-2  
TEL 0285-22-1111  
JR 小山駅東口より徒歩 1 分



大行寺キャンパス

（教育学部）  
〒323-8585  
栃木県小山市大行寺 1117  
TEL 0285-22-8900  
JR 小山駅西口より無料スクールバスで 5 分、または徒歩 20 分



## II.事業の概要

### 3. 白鷗大学足利高等学校の基本計画

#### (1) 教育活動の概要

白鷗大学足利高等学校は、1科（普通科）4コースを有する総合高校で特色ある教育体制を敷いています。

本校舎では、一人ひとりの個性を大切に、主体性の確立をめざすことにより、多様な進路の実現を図っています。「進学コース」「文理進学コース」「総合進学コース」等併せて814名の生徒が学んでいます。新校舎では、充実した教育環境の中で、徹底した受験指導により、生徒たちの希望する大学への進路実現を図っています。「特別進学コース」「進学コース」の生徒465名が学んでいます。

「PLUS ULTRA」（さらに向こうへ）を教育目標とし、自立精神の涵養、責任と義務の会得、豊かな良識と個性の伸長に励んでいます。2024年度入試では本校舎・富田キャンパスを合わせ筑波大学をはじめ国公立大学に30名が合格しました。また、早稲田大学、慶應義塾大学、東京理科大学、明治大学、青山学院大学、立教大学等私立大学に275名が合格しました。うち白鷗大学には75名が入学しました。

#### (2) 重点事業の概要

##### 「SSH」から「HSS」へ

平成25年度～30年度までの5年間、文部科学省の指定を受けて実施したスーパーサイエンスハイスクール(SSH)活動を白鷗スーパーサイエンス(HSS)活動として継承しています。

- ・新校舎では、大学や研究機関・企業との連携を深め、キャリア教育・生涯教育を軸として最先端の科学技術を体験させるなど、新たな教育プログラムを開発することにより、科学的思考力や問題解決能力を一層高め、理数系スペシャリストを育成します。具体的には、大学教授による出張講演、大学研究室訪問、地域貢献も担う小学生を対象とした「白鷗理科教室」、科学体験講座、課題研究などに取り組んでいます。
- ・本校舎では、新校舎同様に科学的思考力や問題解決能力を育成することに加え、探求学習への取り組みや環境問題をテーマとした研究を重視しています。具体的には、環境問題を軸とした理科・社会の科目横断型探求活動、大学見学、授業体験、企業見学、英語講座などに取り組んでいます。

#### 部活動の活発化

本校舎を中心とした部活動も活発で、硬式野球部、女子バスケットボール部、女子サッカー部、柔道部、陸上部などの運動部をはじめ、毎年、県大会、関東大会、そして全国大会に複数の部が出場し上位の成績を収めています。

#### (3) 卒業者数

科	卒業者数
普通科	408名

\*2024年3月1日、卒業式を挙行。

## 4. 白鷗大学足利中学校の基本計画

## (1) 教育活動の概要

白鷗大学足利中学校では、生徒各自の進路実現をめざし、家庭的な雰囲気の中で、基礎学力の充実や品性の陶冶を旨とする教育を行っています。2011年度に理系大学進学をめざす中高一貫教育コースを開設し、進学教育コース（卒業時に自由に進路選択できる従来のコース）との2コース体制に移りましたが、2017年度入学生からは、全員が白鷗大学足利高等学校への入学資格を有した状態で、卒業時に自由に進路選択可能な単一の新体制に発展進化しています。

「PLUS ULTRA～さらに向こうへ～」の校訓のもと、生徒の天分や秘められた可能性を最大限に引き出す教育活動を展開しています。

## (2) 重点事業の概要

確かな学力と高い知性の習得：平日は7時間授業、土曜日は3時間授業（第3・5土曜日は除く）を実施し、主要5教科の授業時間数を多く確保しています。また英語・数学においては、少人数編成の習熟度別授業を実施し、一部のクラスでは先取り学習も行っています。さらに1年次より平日および夏季休業中に補習授業を実施しています。

異文化理解の深化：ネイティブによる英語コミュニケーション授業を実施して言語活動の充実に努めています。また教育目標の「広く国際的な感覚を身につける」を具現化する行事として、オーストラリアでのホームステイを中心とした海外研修旅行（2年生対象）を実施しています。さらに外部講師を招聘した国際理解講座も行っています。

学校行事の運営：林間学校、体育祭、予餞会など主な学校行事の企画・運営は生徒主体で行っており、生徒一人一人の豊かな人間性の育成に役立っています。また異学年交流行事が多く、主体性・協調性の涵養のみならずリーダーシップの育成にも役立っています。

セミナーの実施：有識者や白鷗大学を含む大学教員等によるシーガルセミナーや講座の実施を通じて、生徒の人間力を高める教育に力を入れています。

## (3) 卒業者数

卒業者数
46名

\* 2024年3月4日、第61回卒業式を挙げる。

## II.事業の概要

### 5. 白鷗大学はくおう幼稚園の基本計画

#### (1) 教育活動の概要

はくおう幼稚園では、「子ども一人ひとりが認められ、自分の存在を実感できる幼稚園」、具体的には、

1. 子ども一人一人が自らの存在を実感し、居がいを持ち生き生きと活動する幼稚園
2. 子ども一人一人が基本的な生活習慣を身につけた幼稚園
3. 教育環境が機能的に整備された幼稚園
4. 保護者や地域から信頼される幼稚園
5. 職員一人一人が自らの資質・能力の向上に努める幼稚園

を目指して日々の教育・保育に取り組んでいます。2023年度は年少 23 名、年中 23 名、年長 33 名、計 86 名の園児でスタートを切りました。下記にあるような行事や日常の遊びや製作などをおして社会性を育み、豊かな心とたくましい体づくりを目指して保育に取り組んでいます。

#### 主な行事

入園式、さつま苗植え、七夕祭り、夕涼み会、十五夜、運動会、卒園遠足、やきいもパーティー、おゆうぎ会、おもちつき、ひなまつり、卒園式 など

#### (2) 重点事業の概要

課外活動：外部講師を招聘して、英語、サッカー、ダンスなどの課外活動を年間通して実施するなど、はくおう幼稚園ならではのプログラムを行うことで次の時代をたくましく生きる子どもを育てることを目指しています。英語は外国人講師、サッカーは外部講師、ダンスは白鷗大学ダンス部・サークル学生による指導を行っており、法人内外との連携を持った活動を展開しています。

未就園支援事業：「おひさまクラブ」、「Fun Fun Kids」、「ママといっしょに」の運営を通じて、未就園の子どもたちの社会性をはぐくみ、集団生活に慣れさせるとともに保護者の子育て支援にも寄与しています。

#### (3) 卒園者数

クラス	卒園者数
年長	33名

2024年3月17日、第48回卒園式を挙行。



## III.財務の概要

### 1. 学校法人会計について

学校法人とは、学校教育法および私立学校法の定めるところにより、私立学校（幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、大学院）の設置・運営を目的として設立される法人のことです。学校法人は、寄附行為において、その目的、名称、設置する私立学校の種類、名称等の事項を定め、所轄庁の認可を得て設立されるもので、設置者の理念である建学の精神や学校独自の教育研究活動の理念・目標に基づいて教育研究活動を行い、その成果を社会に還元することを目的としており、企業のように営利目的の事業活動を行うことを目的としていません。そのため、学校法人会計と企業会計とでは、会計の目的が異なります。

企業会計においては、損益を正しく計算し、企業の業績及び財政状態を利害関係者に示すことを目的としていますが、学校法人会計においては、損益よりも、予算計画に基づいて永続的な教育研究活動を行うために必要となる運営資金を安定的に確保し、教育研究活動が健全に行われていることを利害関係者に示すことを目的としています。

また、学校法人はその事業を行うにあたり、必要な施設や設備およびこれらに要する資金等経営に必要な財産を保持するために、自己資金のほかに国や地方公共団体等から経常的経費について補助を受けています。この補助制度が創設されるに当たり、公的な補助を受ける学校法人の公共性を高め、適正な会計処理を行わせることを目的として、1971（昭和46）年に統一的な会計基準が制定されました。それが学校法人会計基準です。学校法人においては、学校法人会計基準に則り、会計処理を行い、計算書類（財務諸表）を作成することが義務付けられています。学校法人会計基準は、社会・経済状況の大きな変化、会計のグローバル化等を踏まえた様々な会計基準の改正、私学を取り巻く経営環境の変化等を受けて、公教育を担う学校法人の経営状態について、社会にわかりやすく説明する仕組みが求められていることから、2013（平成25）年に改正され、2015（平成27）年度の財務諸表より適用されることとなりました。

なお、企業における財務諸表は、損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書ですが、学校法人における財務諸表は、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表となっています。

### 2. 2023年度決算の概要

2023年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の決算の概要のうち、主なものについて説明します。

#### 【資金収支計算書】

資金収支計算書は、1年間の収入・支出毎の資金の流れの総額を表したものであり、企業会計における「キャッシュフロー計算書」に近似したものです。2023年度の翌年度繰越支払資金は3,174百万円と前年度比1,826百万円の減少となりました。

#### (1) 収入の部

##### ①学生生徒等納付金収入（6,486百万円）

授業料収入 4,374百万円、入学金収入 524百万円、施設設備資金収入 1,489百万円。

##### ②手数料収入（155百万円）

入学検定料収入 147百万円。2024年度の志願者数は大学 4,222名、高校 3,589名、中学 64名で総計 7,875名でした。

### Ⅲ.財務の概要

③寄付金収入（22 百万円）

特別寄付金 5 百万円、一般寄付金 17 百万円。

④補助金収入（1,179 百万円）

国庫補助金収入 553 百万円

県費補助金収入 623 百万円

市費補助金収入 2 百万円

⑤資産売却収入（364 百万円）

主なものは有価証券の売却収入です。昨年度比 241 百万円減少となっています。

⑥付随事業・収益事業収入（11 百万円）

新型コロナの影響はほとんどなく付随する収入は、増加もしくは横ばいの傾向にあります。

⑦受取利息・配当金収入（285 百万円）

有価証券及び引当資産等の運用による受取利息及び配当金です。昨年度比 26 百万円増加となっています。

⑧雑収入（380 百万円）

退職金財団交付金収入 160 百万円、退職金社団交付金収入 161 百万円で 2023 年度退職者に対する交付額です。施設設備利用料収入 46 百万円は土地・建物等の賃貸料及び教室貸出の利用料です。

⑨借入金収入（3,600 百万円）

短期借入金から長期借入金へ切り替え。実質借入金は 1,200 百万円。

⑩前受金収入（1,234 百万円）

2023 年度に入学手続きをした 2024 年度新入生の納付金です。

⑪その他の収入（2,369 百万円）

特定資産の早期償還等の増加により、前年度比 1,125 百万円増加となっています。

⑫資金収入調整勘定（1,731 百万円）

期末未収入金 359 百万円

補助金収入、雑収入等には未収入分が含まれているので、その額を控除しています。

前期末前受金 1,371 百万円

前年度末に受け入れた当年度分の収入が学生生徒等納付金収入に含まれているので、その額を控除したものです。

(2) 支出の部

①人件費支出 (3,927 百万円)

教員人件費 2,600 百万円、職員人件費 928 百万円、退職金 347 百万円。

②教育研究経費支出 (2,372 百万円)

教育研究部門の諸経費で、主なものは特待生の授業料減免額等である奨学費支出 1,034 百万円。学生生徒活動補助費支出 108 百万円、設備の管理委託料支出 487 百万円です。

③管理経費支出 (643 百万円)

教育研究費支出に計上されていない管理部門の諸経費（主なものは学生募集費等）です。

④借入金等利息支出 (9 百万円)

日本私立学校振興・共済事業団及び市中金融機関からの借入金に対する支払利息です。

⑤借入金等返済支出 (2,800 百万円)

日本私立学校振興・共済事業団及び市中金融機関からの借入金の返済額及び短期借入金から長期借入金への切り替え分 (2,400 百万円) も含まれています。

⑥施設関係支出 (3,833 百万円)

前年度比 1,645 百万円増加となっています。

⑦設備関係支出 (657 百万円)

教育研究用機器備品支出	570 百万円
管理用機器備品支出	49 百万円
図書支出	23 百万円
車両支出	3 百万円
ソフトウェア支出	10 百万円

⑧資産運用支出(2,020 百万円)

特定資産の期日前償還分の買い替えの増加により、前年度比 1,088 百万円増加としています。

⑨その他支出 (526 百万円)

主なものは前期末未払金支払支出と預り金支払支出です。

### III.財務の概要

#### 【事業活動収支計算書】

事業活動収支計算書は、経営の状況について表したものであり、企業会計における「損益計算書」に近似したものです。2023 年度基本金組入前当年度収支差額は 495 百万円となり前年度比 80 百万円の増加となりました。資金収支計算書で説明したものは省略します。

#### 1. 教育活動収支差額 (160 百万円)

##### (1) 教育活動収入 (8,243 百万円)

###### ① 学生生徒等納付金

大学部門前年度比 172 百万円の増加、高校部門前年度比 17 百万円の増加となりました。

###### ② 経常費等補助金

大学部門における補助金の増加 8 百万円、高校部門は 1 百万円の減少となりました。

###### ③ 雑収入

大学部門における施設設備利用料の増加等により 32 百万円増加となり、高校部門・中学部門は退職者が増加したことにより 35 百万円増加しました。

##### (2) 教育活動支出 (8,060 百万円)

###### ① 人件費

大学は 39 百万円の増加、高校は横ばい、中学は 16 百万円の増加、幼稚園は 4 百万円の減少により 51 百万円の増加となりました。

###### ② 教育研究経費

全体的に増加しており、前年度比 94 百万円の増加となりました。

###### ③ 管理経費

全体的な増加により、25 百万円増加となりました。

以上の要因等により教育活動収支差額は 183 百万円となり、前年度比 94 百万円増加となっています。

#### 2. 教育活動外収支差額 (278 百万円)

##### (1) 教育活動外収入 (288 百万円)

###### ① 受取利息・配当金

円安や運用相場環境が良好なことにより、前年度比 25 百万円の増加となりました。

##### (2) 教育活動外支出 (9 百万円)

###### ① 借入金等利息

前年度比 1 百万円の減少となりました。

以上の要因等により教育活動外収支差額は 278 百万円となり、前年度比 27 百万円増加となりました。

この結果、経常収支差額（教育活動収支差額と教育活動外収支差額の合計）は、461 百万円となり、前年度比 121 百万円増加となりました。

3. 特別収支差額（34 百万円）

(1) 特別収入（53 百万円）

①その他の特別収入

有価証券や車両売却差額、施設設備補助金等によるもので、前年度比 26 百万円の減少となりました。

(2) 特別支出（18 百万円）

①その他の特別支出

資産の除却によるものであり、前年度比 14 百万円の増加となりました。

以上の要因等により特別収支差額は 34 百万円となり、前年度比 41 百万円減少となりました。

4. 基本金組入額

第 1 号基本金組入額は、校地・校舎・構築物・器具備品・図書等の当年度取得額及び過年度において資産取得にあてた借入金の当年度返済額等を示すもので、2,227 百万円組入れています。

【貸借対照表】

貸借対照表は、学校法人の期末における資産と負債・基本金・消費収支差額の状況を表示して、財政状態を表しています。資産総額から負債総額を差し引いた「純資産」は前年度より 495 百万円増加し、36,036 百万円となりました。

(1) 資産の部

①有形固定資産

有形固定資産は減価償却累計額を控除した金額で表示しています。高校・中学新校舎完成等により昨年度より 3,371 百万円増加しています。

②退職給与引当特定資産

将来の教職員の退職金支払いに備えて引当資産化したものです。

③減価償却引当特定資産

将来取壊しが予定されている施設設備の減価償却累計額を引当資産化したものです。

(2) 負債の部

①借入金

既存の短期借入金 4 億円の返済を行い完済しました。新校舎建築のための借入金は短期から長期への切り替えをしました。その上で 2024 年度に返済予定の借入金 4.8 億円は短期借入金へ振替えています。

②退職給与引当金

大学は私立大学退職金財団へ加入しております。期末退職金要支給額と同財団に対する掛け金の累積額と交付金の累積額との調整額を加減した金額の 100%を退職給与引当金として計上しています。

(3) 基本金の部

①第 1 号基本金

現在所有している校地・校舎・機器備品・図書等の資産を自己資金で調達した総額を示したものです。

②第 4 号基本金

学校法人の恒常的に保持すべき運転資金としての基本金です。

III.財務の概要

法人名：学校法人白鷗大学

資金収支計算書

2023年4月1日から

2024年3月31日まで

<総括表>

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	6,444,910,000	6,486,689,000	△ 41,779,000
手数料収入	174,840,000	155,241,190	19,598,810
寄付金収入	13,910,000	22,731,914	△ 8,821,914
補助金収入	1,108,210,000	1,179,557,201	△ 71,347,201
国庫補助金収入	494,800,000	553,409,200	△ 58,609,200
地方公共団体補助金収入	613,410,000	626,148,001	△ 12,738,001
資産売却収入	264,000,000	364,409,332	△ 100,409,332
付随事業・収益事業収入	8,550,000	11,576,361	△ 3,026,361
受取利息・配当金収入	281,000,300	285,706,230	△ 4,705,930
雑収入	356,930,280	380,510,029	△ 23,579,749
借入金等収入	3,600,000,000	3,600,000,000	0
前受金収入	1,185,500,000	1,234,958,269	△ 49,458,269
その他の収入	2,347,886,617	2,369,287,547	△ 21,400,930
資金収入調整勘定	△ 1,700,208,549	△ 1,731,397,121	31,188,572
前年度繰越支払資金	5,000,922,332	5,000,922,332	0
収入の部合計	19,086,450,980	19,360,192,284	△ 273,741,304
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	3,938,103,374	3,927,642,891	10,460,483
教育研究経費支出	2,445,729,842	2,372,405,596	73,324,246
管理経費支出	745,347,000	643,529,908	101,817,092
借入金等利息支出	9,920,000	9,842,677	77,323
借入金等返済支出	2,800,000,000	2,800,000,000	0
施設関係支出	3,821,200,000	3,833,030,307	△ 11,830,307
設備関係支出	733,971,784	657,301,128	76,670,656
資産運用支出	2,015,000,000	2,020,042,254	△ 5,042,254
その他の支出	481,748,152	526,089,656	△ 44,341,504
〔予備費〕	( 50,000,000 ) 0		0
資金支出調整勘定	△ 560,920,611	△ 604,055,631	43,135,020
翌年度繰越支払資金	2,656,351,439	3,174,363,498	△ 518,012,059
支出の部合計	19,086,450,980	19,360,192,284	△ 273,741,304

法人名： 学校法人白鷗大学

**活動区分資金収支計算書**

2023年 4月 1日から

2024年 3月31日まで

<総括表>

(単位 円)

		科 目	金 額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	6,486,689,000
		手数料収入	155,241,190
		経常費等補助金収入	1,573,514,891
		教育活動資金収入計	8,215,445,081
	支出	人件費支出	3,927,642,891
		教育研究経費支出	2,372,405,596
		教育活動資金支出計	6,943,578,395
	差引		1,271,866,686
	調整勘定等		▲ 101,633,432
	教育活動資金収支差額		1,170,233,254
施設整備等活動による資金収支	科 目		金 額
	収入	施設設備補助金収入	18,150,000
		施設整備等活動資金収入計	1,611,843,509
	支出	施設関係支出	3,833,030,307
		設備関係支出	657,301,128
		施設整備等活動資金支出計	5,991,318,735
	差引		▲ 4,379,475,226
	調整勘定等		208,915,996
	施設整備等活動資金収支差額		▲ 4,170,559,230
	小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)		▲ 3,000,325,976
その他の活動による資金収支	科 目		金 額
	収入	借入金等収入	3,600,000,000
		受取利息・配当金収入	285,706,230
		その他の活動資金収入計	4,684,637,653
	支出	借入金等返済支出	2,800,000,000
		借入金等利息支出	9,842,677
		その他の活動資金支出計	3,510,870,511
	差引		1,173,767,142
	調整勘定等		0
	その他の活動資金収支差額		1,173,767,142
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)		▲ 1,826,558,834	
前年度繰越支払資金		5,000,922,332	
翌年度繰越支払資金		3,174,363,498	

事業活動収支計算書

2023年 4月 1日から

2024年 3月31日まで

<総括表>

(単位 円)

		科 目	予 算	決 算	差 異	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	6,444,910,000	6,486,689,000	△ 41,779,000	
		手数料	174,840,000	155,241,190	19,598,810	
		寄付金	12,510,000	21,027,305	△ 8,517,305	
		経常費等補助金	1,108,210,000	1,161,407,201	△ 53,197,201	
		国庫補助金	494,800,000	535,259,200	△ 40,459,200	
		地方公共団体補助金	613,410,000	626,148,001	△ 12,738,001	
		付随事業収入	8,550,000	11,481,072	△ 2,931,072	
		雑収入	356,930,280	407,651,329	△ 50,721,049	
		教育活動収入計	8,105,950,280	8,243,497,097	△ 137,546,817	
		教育活動支出の部	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算
人件費	3,938,103,374			3,929,403,839	8,699,535	
教育研究経費	3,411,099,842			3,334,142,198	76,957,644	
管理経費	895,170,315			796,859,856	98,310,459	
徴収不能額等	0			0	0	
教育活動支出計	8,244,373,531			8,060,405,893	183,967,638	
教育活動収支差額			△ 138,423,251	183,091,204	△ 321,514,455	
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		受取利息・配当金	281,000,300	288,041,550	△ 7,041,250	
		その他の教育活動外収入	0	0	0	
		教育活動外収入計	281,000,300	288,041,550	△ 7,041,250	
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		借入金利息	9,920,000	9,842,677	77,323	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	
		教育活動外支出計	9,920,000	9,842,677	77,323	
	教育活動外収支差額			271,080,300	278,198,873	△ 7,118,573
	経常収支差額			132,657,049	461,290,077	△ 328,633,028
特別収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		資産売却差額	22,000,000	26,075,538	△ 4,075,538	
		その他の特別収入	1,400,000	27,500,528	△ 26,100,528	
		特別収入計	23,400,000	53,576,066	△ 30,176,066	
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		資産処分差額	11,050,000	18,872,170	△ 7,822,170	
		その他の特別支出	0	0	0	
		特別支出計	11,050,000	18,872,170	△ 7,822,170	
	特別収支差額			12,350,000	34,703,896	△ 22,353,896
	〔予備費〕		( 12,278,216 )			
		37,721,784			37,721,784	
基本金組入前当年度収支差額			107,285,265	495,993,973	△ 388,708,708	
基本金組入額合計			△ 1,778,450,000	△ 2,227,982,814	449,532,814	
当年度収支差額			△ 1,671,164,735	△ 1,731,988,841	60,824,106	
前年度繰越収支差額			△ 11,469,460,546	△ 11,469,460,546	0	
基本金取崩額			244,000,000	115,577,833	128,422,167	
翌年度繰越収支差額			△ 12,896,625,281	△ 13,085,871,554	189,246,273	
(参考)						
事業活動収入計			8,410,350,580	8,585,114,713	△ 174,764,133	
事業活動支出計			8,303,065,315	8,089,120,740	213,944,575	



法人名：学校法人白鷗大学

## 貸借対照表

2024年3月31日

&lt;総括表&gt;

(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	35,356,042,422	32,068,074,477	3,287,967,945
有形固定資産	32,516,918,131	29,145,037,137	3,371,880,994
特定資産	2,165,572,410	2,239,786,246	△ 74,213,836
その他の固定資産	673,551,881	683,251,094	△ 9,699,213
流動資産	6,043,775,399	7,938,078,366	△ 1,894,302,967
<b>資産の部合計</b>	<b>41,399,817,821</b>	<b>40,006,152,843</b>	<b>1,393,664,978</b>
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	2,966,621,306	1,073,007,663	1,893,613,643
流動負債	2,396,933,783	3,392,876,421	△ 995,942,638
<b>負債の部合計</b>	<b>5,363,555,089</b>	<b>4,465,884,084</b>	<b>897,671,005</b>
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	49,122,134,286	47,009,729,305	2,112,404,981
第1号基本金	48,632,134,286	46,519,729,305	2,112,404,981
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	0	0	0
第4号基本金	490,000,000	490,000,000	0
繰越収支差額	△ 13,085,871,554	△ 11,469,460,546	△ 1,616,411,008
<b>純資産の部合計</b>	<b>36,036,262,732</b>	<b>35,540,268,759</b>	<b>495,993,973</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>41,399,817,821</b>	<b>40,006,152,843</b>	<b>1,393,664,978</b>

## 財 産 目 録

2024年 3月31日現在

I 資産総額	41,399,817,821 円
内 基本財産	32,862,850,285 円
運用財産	8,536,967,536 円
II 負債総額	5,363,555,089 円
III 正味財産	36,036,262,732 円

(単位：円)

区 分	金 額
<b>資産額</b>	
一. 基本財産	32,862,850,285
1. 土地（借地権を含む）	258,585 m <sup>2</sup> 6,171,734,231
2. 建物	127,922 m <sup>2</sup> 22,818,574,321
3. 構築物	914,072,344
4. 図書	310,534 冊 1,296,980,543
5. 教具・校具・備品	4,967 点 1,582,395,283
6. 建設仮勘定	0
7. その他	79,093,563
二. 運用財産	8,536,967,536
1. 預金・現金	3,174,363,498
2. 積立金	157,827,000
3. 退職給与引当特定資産	1,064,849,910
4. 減価償却引当特定資産	1,100,722,500
5. 第2号基本金引当特定資産	0
6. 有価証券	2,403,172,198
7. その他	636,032,430
<b>資産総額</b>	<b>41,399,817,821</b>
<b>負債額</b>	
1. 固定負債	2,966,621,306
(1) 長期借入金	1,920,000,000
(2) 退職給与引当金	1,046,621,306
2. 流動負債	2,396,933,783
(1) 短期借入金	480,000,000
(2) 前受金	1,234,958,269
(3) 未払金	521,135,020
(4) 預り金	160,840,494
<b>負債総額</b>	<b>5,363,555,089</b>
<b>正味財産（資産総額－負債総額）</b>	<b>36,036,262,732</b>

## 経年比較

## (1) 資金収支の状況

(単位：千円)

	科目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
収入の部	学生生徒納付金収入	6,221,695	6,183,482	6,236,455	6,273,830	6,486,689
	手数料収入	193,143	200,852	188,561	172,190	155,241
	寄付金収入	55,537	31,819	26,033	22,641	22,731
	補助金収入	1,178,775	1,078,789	1,076,779	1,179,195	1,179,557
	資産売却収入	14,798	95,976	570,437	584,550	364,409
	付随事業・収益事業収入	23,926	7,828	40,111	12,930	11,576
	受取利息・配当金収入	172,669	145,107	212,499	259,714	285,706
	雑収入	769,178	296,774	446,109	344,855	380,510
	借入金等収入	0	0	0	1,200,000	3,600,000
	前受金収入	1,220,306	1,285,468	1,328,948	1,371,928	1,234,958
	その他の収入	1,182,458	1,290,992	2,970,158	1,244,153	2,369,287
	資金収入調整勘定	△ 1,479,304	△ 1,538,354	△ 1,574,714	△ 1,672,730	△ 1,731,397
	前年度繰越支払資金	2,872,413	2,907,466	3,416,923	5,097,406	5,000,922
	<b>合計</b>	<b>12,425,594</b>	<b>11,986,199</b>	<b>14,938,299</b>	<b>16,090,662</b>	<b>19,360,192</b>
支出の部	人件費支出	3,811,506	3,687,033	3,632,194	3,875,746	3,927,643
	教育研究経費支出	2,516,088	2,376,570	2,160,700	2,242,931	2,372,405
	管理経費支出	705,199	556,864	606,881	615,790	643,530
	借入金等利息支出	29,580	22,651	15,653	11,176	9,843
	借入金等返済支出	800,000	800,000	800,000	800,000	2,800,000
	施設関係支出	304,598	279,365	333,034	2,188,024	3,833,030
	設備関係支出	193,172	140,041	249,277	105,392	657,301
	資産運用支出	914,025	742,966	1,896,069	932,059	2,020,042
	その他の支出	504,589	410,281	595,591	654,564	526,090
	資金支出調整勘定	△ 260,627	△ 446,494	△ 448,503	△ 335,939	△ 604,055
	次年度繰越支払資金	2,468,072	3,416,925	5,097,406	5,000,922	3,174,363
<b>合計</b>	<b>12,425,594</b>	<b>11,986,199</b>	<b>14,938,299</b>	<b>16,090,662</b>	<b>19,360,192</b>	

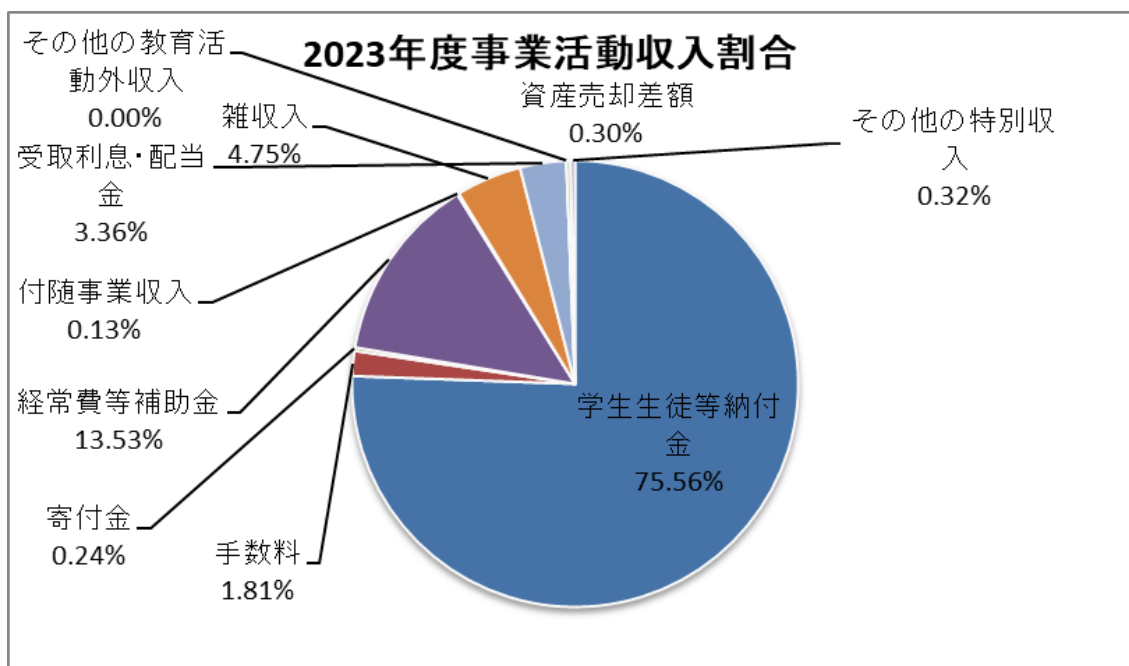
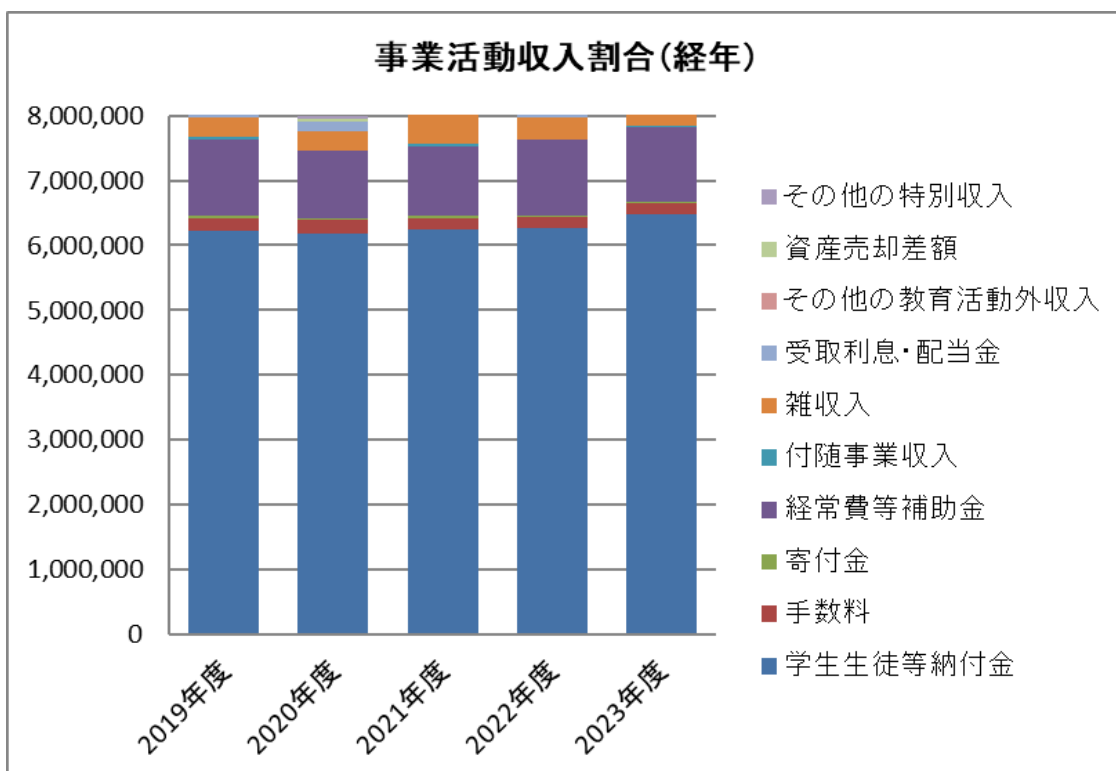
III.財務の概要

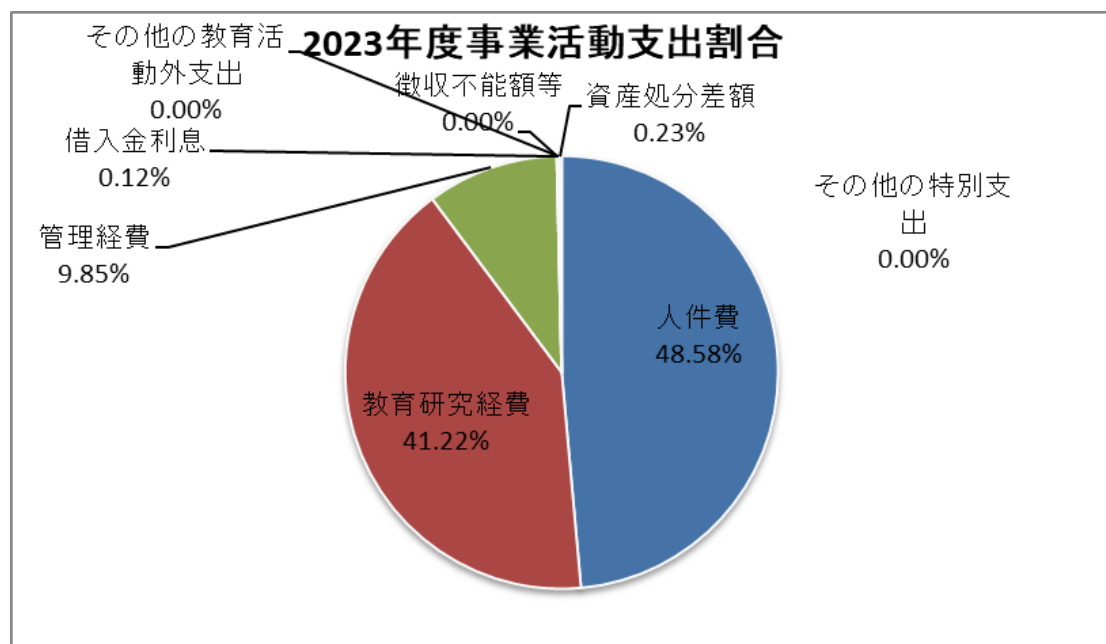
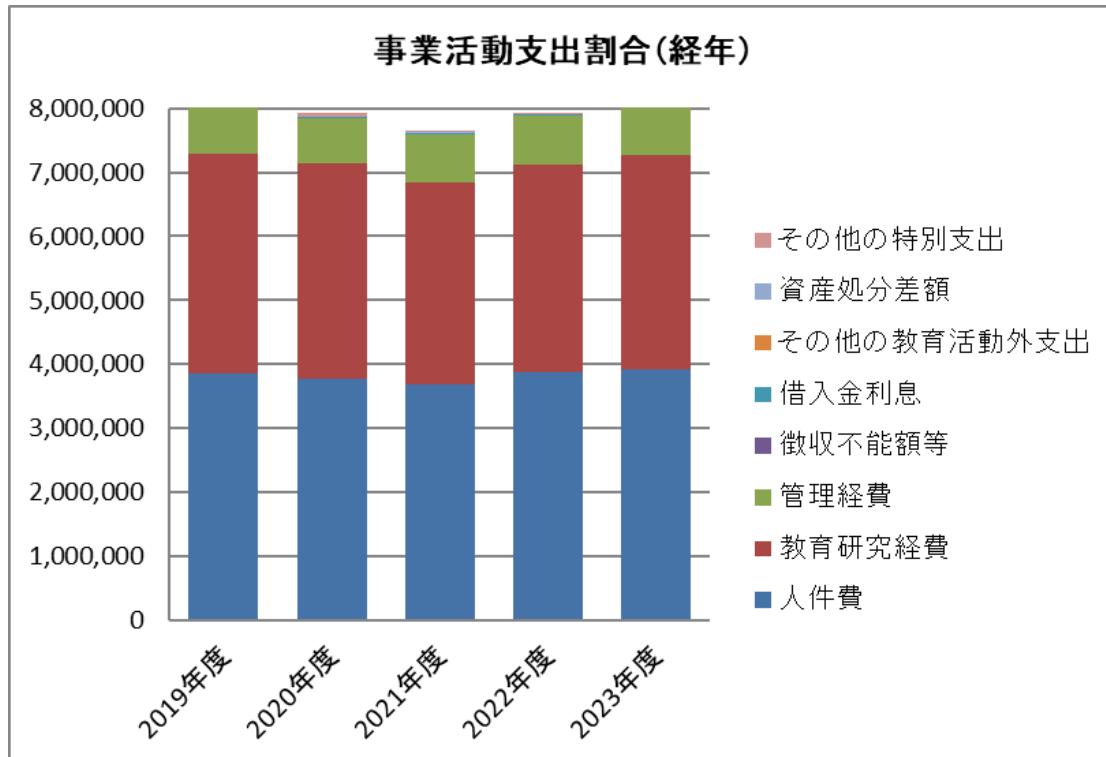
(2) 事業活動収支の状況

(単位：千円)

		科目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	6,221,695	6,183,482	6,236,455	6,273,831	6,486,689
		手数料	193,143	200,852	188,562	172,190	155,241
		寄付金	45,258	30,249	24,554	20,908	21,028
		経常費等補助金	1,178,775	1,041,857	1,076,779	1,156,777	1,161,407
		付随事業収入	24,480	7,400	40,061	12,679	11,481
		雑収入	303,250	296,324	439,833	341,933	407,651
		教育活動収入計	7,966,601	7,760,164	8,006,244	7,978,318	8,243,497
	事業活動支出の部	人件費	3,857,670	3,772,937	3,685,213	3,878,033	3,929,404
		教育研究経費	3,437,711	3,363,692	3,150,473	3,239,944	3,334,142
		管理経費	810,562	705,910	753,234	771,813	796,860
		徴収不能額等	0	607	0	0	0
教育活動支出計		8,105,943	7,843,146	7,588,920	7,889,790	8,060,406	
教育活動収支差額			△ 139,342	△ 82,982	417,324	88,528	183,091
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	175,100	140,639	214,909	262,095	288,041
		その他の教育活動外収入	0	6,901	0	0	0
		教育活動外収入計	175,100	147,540	214,909	262,095	288,041
	事業活動支出の部	借入金利息	29,580	22,651	15,653	11,175	9,843
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	29,580	22,651	15,653	11,175	9,843
教育活動外収支差額			145,520	124,889	199,256	250,920	278,198
<b>経常収支差額</b>			<b>6,178</b>	<b>41,907</b>	<b>616,580</b>	<b>339,448</b>	<b>461,290</b>
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	1,292	47,964	5,458	50,127	26,076
		その他の特別収入	483,600	44,836	10,187	30,411	27,500
		特別収入計	484,892	92,800	15,645	80,538	53,576
	事業活動支出の部	資産処分差額	220,102	4,888	27,208	4,123	18,872
		その他の特別支出	349,834	49,500	4,885	315	0
		特別支出計	569,936	54,388	32,093	4,438	18,872
特別収支差額			△ 85,044	38,412	△ 16,448	76,100	34,703
〔予備費〕							
基本金組入前当年度収支差額			80,319	600,132	600,132	415,548	495,993
基本金組入額合計			△ 1,050,505	△ 992,039	△ 1,202,283	△ 1,689,800	△ 2,227,982
当年度収支差額			△ 970,186	△ 391,907	△ 602,151	△ 1,274,252	△ 1,731,989
前年度繰越収支差額			△ 7,555,033	△ 8,684,404	△ 9,596,125	△ 10,198,276	△ 11,469,460
基本金取崩額			0	0	0	3,067	115,577
翌年度繰越収支差額			△ 8,525,219	△ 9,076,311	△ 10,198,276	△ 11,469,460	△ 13,085,871
(参考)							
事業活動収入計			8,000,504	8,236,798	8,236,800	8,320,952	8,585,114
事業活動支出計			7,920,185	7,636,666	7,636,668	7,905,404	8,089,120
事業活動収支差額			80,319	600,132	600,132	415,548	495,994

経常収入	8,141,701	7,907,704	8,221,153	8,240,413	8,531,538
経常支出	8,135,523	7,865,797	7,604,573	7,900,965	8,070,249
経常収支差額	6,178	41,907	616,580	339,448	461,289





(3) 貸借対照表の状況

(単位：千円)

資産の部					
科 目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
固 定 資 産	34,493,303	32,600,539	31,007,648	32,068,074	35,356,042
有形固定資産	29,360,298	28,615,748	28,033,984	29,145,037	32,516,918
うち、土地	5,884,782	5,884,782	5,884,782	5,884,346	5,883,406
うち、建物	19,707,876	19,167,862	18,504,719	17,896,490	22,818,574
うち、構築物	1,123,934	1,044,999	1,027,109	906,355	914,072
うち、教育研究用機器備品	1,131,312	1,015,976	926,531	826,225	1,253,008
特定資産	4,451,152	3,333,183	2,334,378	2,239,786	2,165,572
その他の固定資産	681,853	651,608	639,286	683,251	673,552
流 動 資 産	5,245,947	6,759,823	8,278,668	7,938,078	6,043,775
うち、現金・預金	2,907,467	3,416,923	5,097,406	5,000,922	3,174,363
うち、有価証券	1,980,129	2,938,337	2,810,605	2,500,506	2,403,172
合 計	39,739,250	39,360,362	39,286,316	40,006,152	41,399,817
負債・基本金及び消費収支差額の部					
科 目	2020年度	2021年度	2021年度	2022年度	2023年度
負 債	5,294,980	4,835,773	4,161,596	4,465,883	5,363,555
固 定 負 債	2,932,333	2,218,236	1,471,255	1,073,007	2,966,621
うち、長期借入金	2,000,000	1,200,000	400,000	0	1,920,000
うち、退職給与引当金	932,333	1,018,236	1,071,255	1,073,007	1,046,621
流動負債	2,362,647	2,617,537	2,690,340	3,392,876	2,396,934
うち、前受金	1,220,306	1,285,468	1,328,948	1,371,928	1,234,958
基 本 金	43,128,673	44,120,713	45,322,996	47,009,729	49,122,134
第 1 号 基 本 金	42,638,673	43,630,713	44,832,996	46,519,729	48,632,134
第 2 号 基 本 金	0	0	0	0	0
第 3 号 基 本 金	0	0	0	0	0
第 4 号 基 本 金	490,000	490,000	490,000	490,000	490,000
消 費 収 支 差 額	△ 8,684,404	△ 9,596,125	△ 10,198,276	△ 11,469,460	△ 13,085,871
(何)年度消費支出準備金	0				
翌年度繰越し消費収入超過額又は △翌年度繰越し消費支出超過額	△ 8,684,404	△ 9,596,125	△ 10,198,276	△ 11,469,460	△ 13,085,871
合 計	39,739,249	39,360,359	39,286,316	40,006,152	41,399,817
減価償却額の累計額の合計額	15,320,989	16,302,568	17,270,341	18,411,958	18,903,204
基 本 金 未 組 入 額	2,846,386	2,021,289	1,304,192	1,603,741	2,614,066

### III.財務の概要

#### (4)財務比率表

(単位:%)

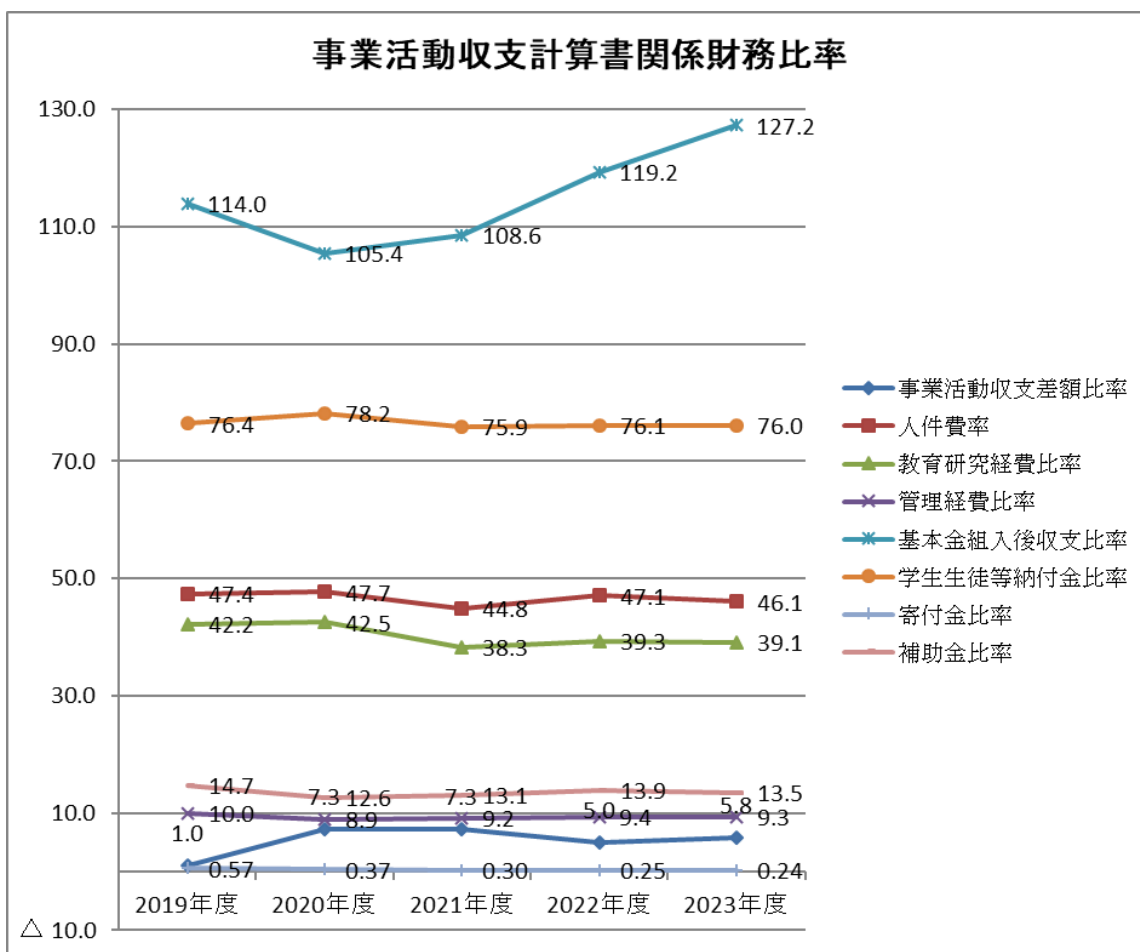
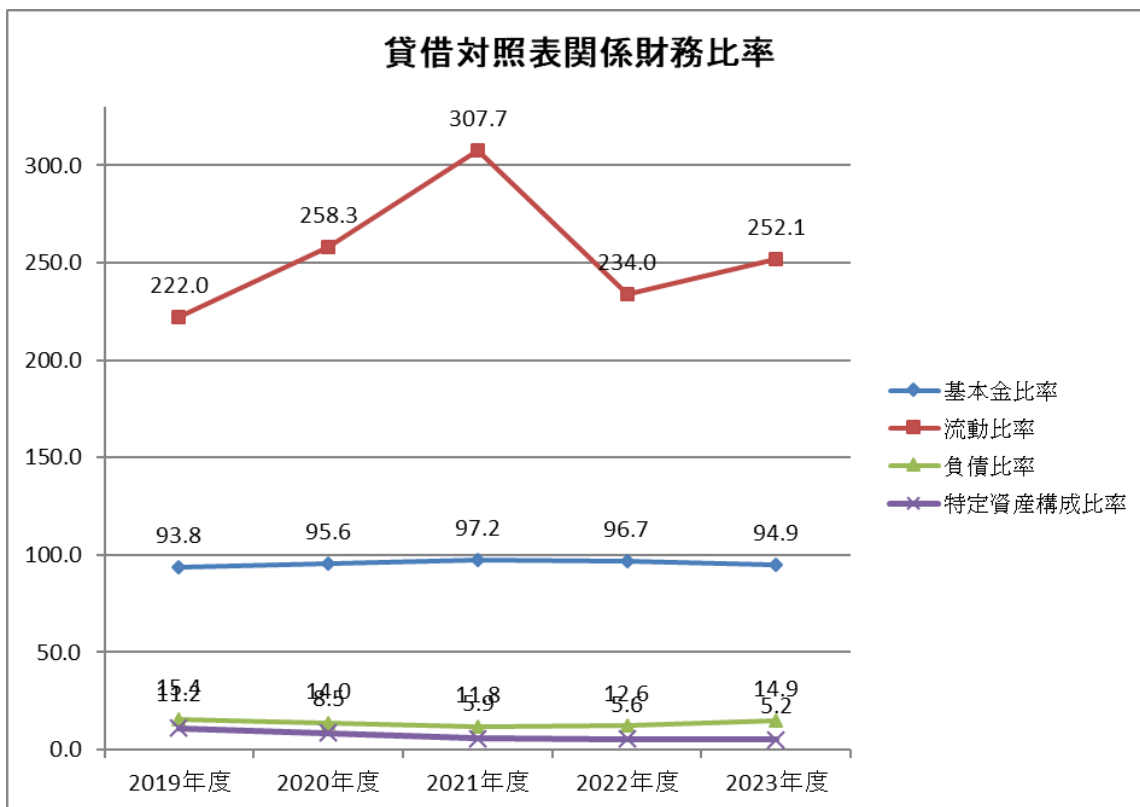
##### 貸借対照表関係比率

	比 率	評 価	算 式 (×100)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	全国平均
①	特定資産構成比率	△	特定資産/総資産	11.2	8.5	5.9	5.6	5.2	23.2
②	流動比率	▼	流動資産 / 流動負債	222.0	258.3	307.7	234.0	252.1	263.2
③	負債比率	▼	総 負 債 / 純 資 産	15.4	14.0	11.8	12.6	14.9	13.3
④	基本金比率	△	基本金/基本金要組入額	93.8	95.6	97.2	96.7	94.9	97.2

##### 事業活動収支計算書関係比率

	比 率	評 価	算 式 (×100)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	全国平均
⑤	人件費率	▼	人件費/経常収入	47.4	47.7	44.8	47.1	46.1	50.9
⑥	教育研究経費比率	△	教育研究経費/経常収入	42.2	42.5	38.3	39.3	39.1	36.1
⑦	管理経費比率	△	管理経費/経常収入	10.0	8.9	9.2	9.4	9.3	8.5
⑧	事業活動収支差額比率	▼	基本金組入前当年度収支差額 /事業活動収入	1.0	7.3	7.3	5.0	5.8	4.6
⑨	基本金組入後収支比率	△	事業活動支出 /事業活動収入-基本金組入額	114.0	105.4	108.6	119.2	127.2	104.7
⑩	学生生徒等納付金比率		学生生徒等納付金/経常収入	76.4	78.2	75.9	76.1	76.0	73.5
⑪	寄付金比率	△	寄付金/事業活動収入	0.57	0.37	0.30	0.25	0.24	1.9
⑫	経常寄付金比率		教育活動収支の寄付金/経常収入	0.6	0.4	0.3	0.3	0.2	1.4
⑬	補助金比率	△	補助金/経常収入	14.7	12.6	13.1	13.9	13.5	14.4
⑭	経常補助金比率		教育活動収支の補助金/経常収入	14.5	13.2	13.1	14.0	13.6	14.2
⑮	基本金組入率	▼	基本金組入額/事業活動収入	13.1	12.0	14.6	20.3	26.0	8.9
⑯	経常収支差額比率		経常収支差額/経常収入	0.1	0.5	7.5	4.1	5.4	4.2
⑰	教育活動収支差額比率		教育活動収支差額/教育活動収入計	△ 1.7	△ 1.1	5.2	1.1	2.2	2.3





## 監査報告書

学校法人白鷗大学

理事長 上岡 條 二 殿

私たち監事は、私立学校法第 37 条第 3 項及び学校法人白鷗大学寄附行為第 7 条の規定に基づき、学校法人白鷗大学の 2023 年度（2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで）における業務執行並びに財産の状況について監査を行いました。

その結果につき、本監査報告書を作成し、下記のとおり報告いたします。

### 1. 監査方法の概要

私たち監事は監査に当たり、理事会及び評議員会、その他の重要な会議に出席するほか、理事等から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、会計監査人（監査法人ナカチ）と連携し、主要な関係部署において業務および財産の状況を調査いたしました。

また、会計監査人から随時監査に関する報告を求め、計算書類及び付属明細書につき慎重に検討するなど、必要と思われる監査手続を実施しました。

### 2. 監査の結果

2023 年度学校法人白鷗大学の業務に関する決定及び執行は適切であり、計算書類、すなわち、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表（固定資産明細表及び基本金明細表を含む。）並びに財産目録は、会計帳簿の記載と合致し、その収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人会計基準（昭和 46 年文部省令第 18 号）にも準拠しております。

学校法人白鷗大学の 2024 年 3 月 31 日現在の財政状態及び同日をもって終了する会計年度の経営状況を適正に表示しているものと認めました。

学校法人白鷗大学の業務決定及び業務執行状況、財産に関する不正の行為または法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと確認いたしました。

2024 年 5 月 24 日

学校法人白鷗大学

監事 澤見 栄一



監事 清都 崇史



# 基礎データ

## (1) 入園・入学者数5ヵ年推移

学校名			2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
白鷗大学	大学院	経営学研究科	1	1	1	3	1	
			(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	
		法学研究科	3	5	6	5	4	
	(10)		(10)	(10)	(10)	(10)		
	合計		4	6	7	8	5	
			(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	
	学部	経営学部	経営学科	470	470	471	551	456
				(400)	(400)	(400)	(400)	(400)
		法学部	法律学科	305	313	309	324	319
				(270)	(270)	(270)	(270)	(270)
		教育学部	発達科学科	496	500	509	503	531
				(430)	(430)	(430)	(430)	(430)
	合計		1,271	1,283	1,289	1,378	1,306	
		(1,100)	(1,100)	(1,100)	(1,100)	(1,100)		
白鷗大学足利高等学校			412	438	433	468	427	
			(950)	(950)	(950)	(950)	(950)	
白鷗大学足利中学校			44	46	42	58	33	
			(120)	(120)	(120)	(120)	(120)	
白鷗大学はくおう幼稚園*			36	33	24	24	18	
			(40)	(40)	(40)	(40)	(40)	
総合計			1,767	1,806	1,795	1,936	1,789	
			(2,240)	(2,240)	(2,240)	(2,240)	(2,240)	

上段は入学者数、下段の( )は入学定員数

\*幼稚園は年少クラスの入園者数

## (2) 2024年度志願者・合格者(大学)

学部	学科・専攻	募集人員	志願者数	合格者数	
経営学部	経営学科	400	1,451	908	
法学部	法律学科	270	982	737	
教育学部	発達科学科	430	1,781	1,289	
	内訳(専攻)	児童教育	220	874	648
		スポーツ健康	120	386	259
		英語教育	50	233	199
		心理学	40	288	183
計		1,100	4,214	2,934	

## (3) 2023年度国際交流留学生実績(大学)

研修内容	実施期間	参加人数
短期海外研修		
インディアナ大学研修	2023.8~9	13名
ハワイ大学研修	2023.8~9	26名
台湾研修	2024.3	中止
経営学部海外留学プログラム		
ビクトリア大学	2023.9~12	15名
タコマコミュニティカレッジ	2023.9~12	8名
国内研修		
英語研修(学内研修・ブリティッシュヒルズ)	2024.2	51名

基礎データ

(4) 2023年度学部・大学院 進路データ

(2024年5月1日現在)

学部	学科・専攻	卒業者	就職希望者(a)			未就職者		就職率
			内定者 (b)	臨採ほか (c)	未定 (d)	進学 (大学院)	進学 (その他 在宅等)	%
経営	経営	433	381	6	2	1	43	99.5%
法	法律	264	230	4	2	0	28	99.2%
教育	児童教育	219	177	32	1	6	3	99.5%
	スポーツ健康	119	80	25	1	2	11	99.1%
	英語教育	56	44	8	0	3	1	100.0%
	心理学	58	37	2	0	10	9	100.0%
合計		1,149	949	77	6	22	95	99.4%

就職率=(b)+(c) / (a)

大学院	専攻	修了者	進学者	就職者	その他
経営	経営学	1	0	1	0
法	法律学	5	0	5	0
合計		6	0	6	0

※その他には、在職者を含む。

(5) 2023年度学生・生徒・幼児納付金

・大学

	2021年度生～2024年度生			
	1年次	2年次	3年次	4年次
入学金	280,000			
授業料※	740,000	740,000	740,000	740,000
施設設備費	270,000	270,000	270,000	270,000
諸会費	17,000	17,000	17,000	17,000
計	1,307,000	1,027,000	1,027,000	1,027,000

※教育学部は、プラス40,000円となります。

・高等学校

	普通科 (1年次)	普通科 (2・3年次)
入学金	150,000	
学費	561,200	488,200
計	711,200	488,200

・中学校

	1年次	2・3年次
入学金	200,000	
学費	557,400	477,400
計	757,400	477,400

・幼稚園

	入園生	在園生
入園料	50,000	
保育料	280,800	280,800
計	330,800	280,800

・送迎の有無などにより増減あり。

・幼児教育無償化対象。

学校法人 白鷗大学  
編 集：経営企画室  
発 行：2024年5月